2026年10月31日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,347万kW
17時30分、83,472 MW（10エリア同時刻合計）

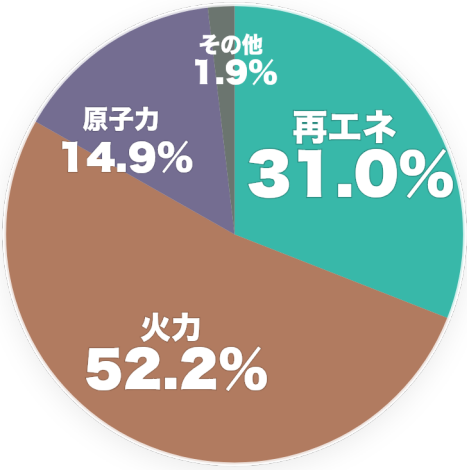
☀ 太陽光ピーク
4,438万kW
11時、44,385 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
358万kW
17時30分、3,582 MW

◇ 再エネ最大需要比
68.6%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
128 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
110 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 45.7%

34.7 GWh

出力抑制量

22.1 GWh

最大: 九州 9.5 GWh

揚水・蓄電の充電

81.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:00に2,694万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.7%でした。
- 出力抑制は東北、中部、関西、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**31.0%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**592 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,912 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**68.6%**	11時
出力抑制量	**22.1 GWh**	最大: 九州
揚水・蓄電の充電	**81.6 GWh**	発電構成比には含めない

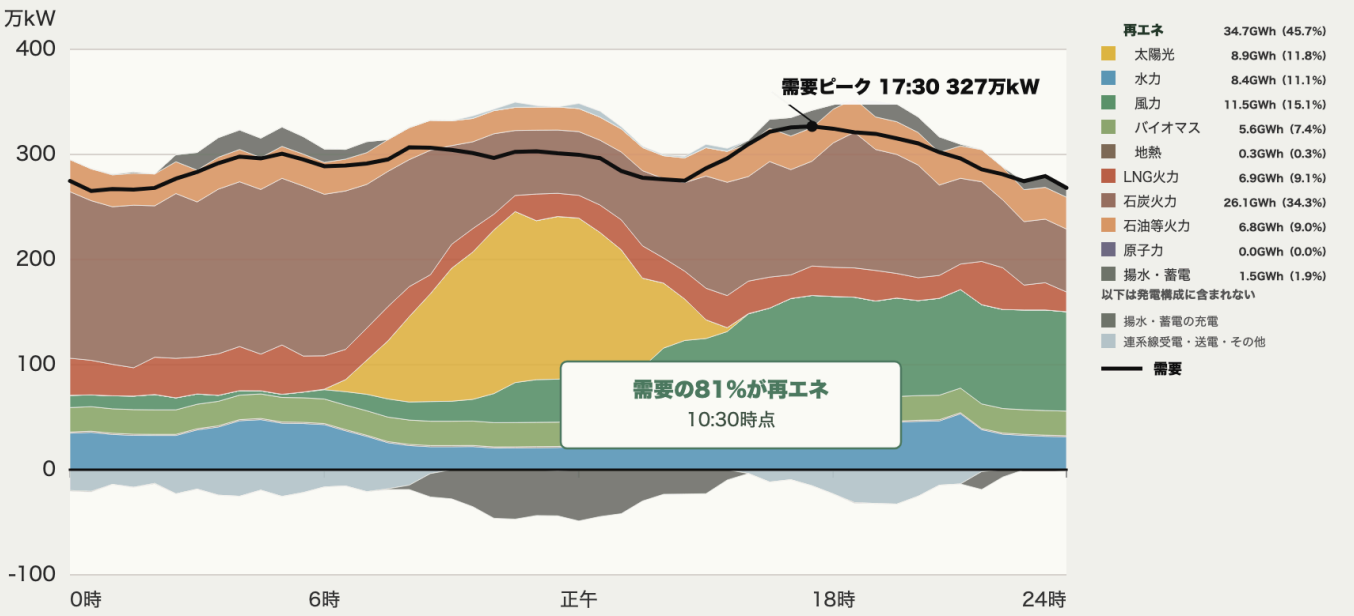
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**45.7%**	**34.7**	**0.0**	**送電 2.6**
東北	**35.2%**	**104**	**2.1**	**送電 110**
東京	**25.8%**	**127**	**0.0**	**受電 128**
中部	**41.9%**	**100**	**0.0**	**受電 41.4**
北陸	**38.6%**	**26.9**	**0.0**	**送電 12.0**
関西	**23.0%**	**58.9**	**0.0**	**受電 48.4**
中国	**26.0%**	**38.0**	**8.8**	**送電 12.6**
四国	**33.4%**	**29.2**	**1.6**	**送電 31.8**
九州	**30.7%**	**70.2**	**9.5**	**送電 30.8**
沖縄	**13.7%**	**3.0**	**0.0**	—

2026年10月31日の供給実績

北海道エリア

再エネ
34.7GWh
（発電電力量ベース45.7%）

北海道エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
75.9GWh

需要ピーク
17:30、327万kW

連系線・その他
2.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

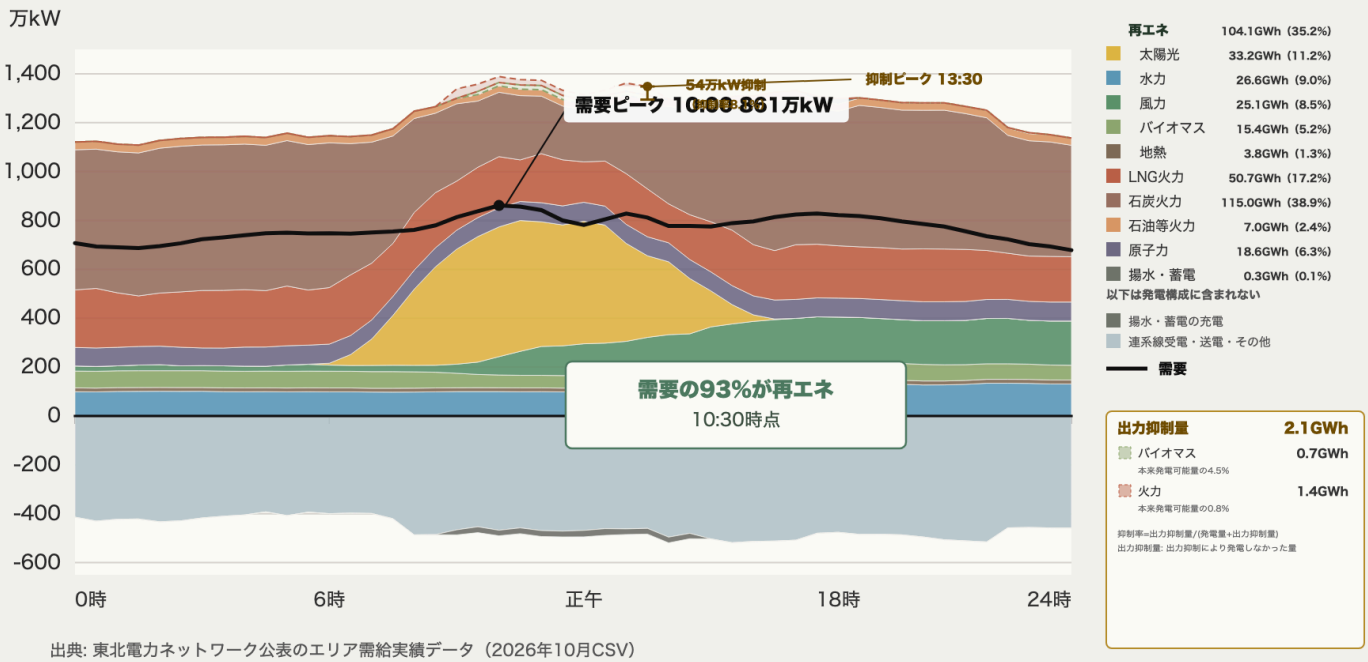
北海道は、太陽光ピーク163万kW、風力ピーク96万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.2%だった。

2026年10月31日の供給実績

東北エリア

再エネ
104.1GWh
（発電電力量ベース35.2%）

東北エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
295.7GWh

需要ピーク
10:00、861万kW

連系線・その他
110.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
2.1GWh

概況

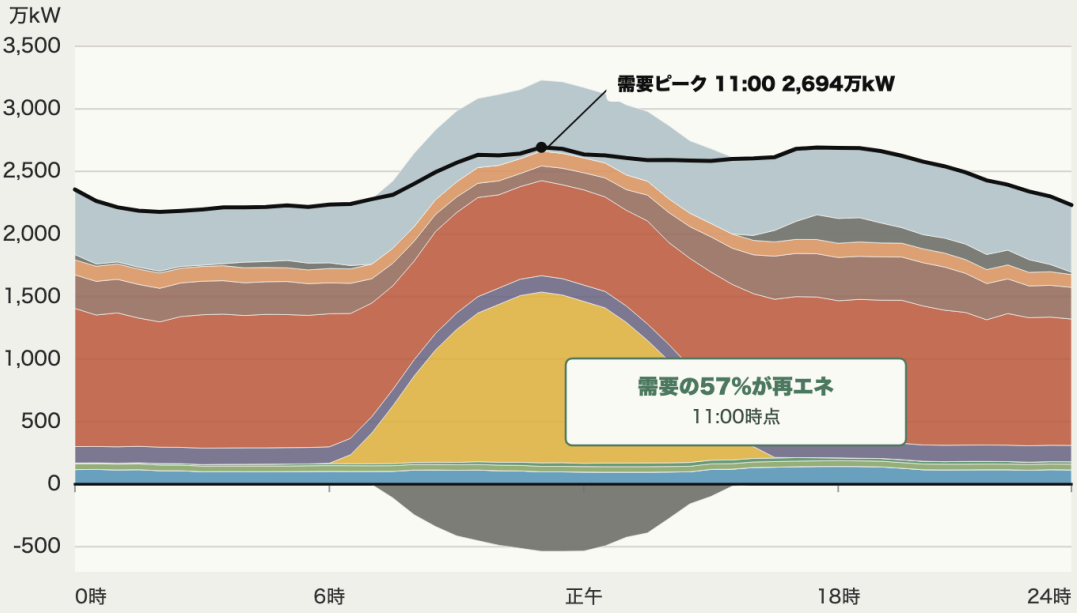
東北は、太陽光ピーク535万kW、風力ピーク191万kWで、時間別の再エネ最大需要比は101.9%だった。

2026年10月31日の供給実績

東京エリア

再エネ
126.8GWh
（発電電力量ベース25.8%）

東京エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 491GWh
（4,910万kWh）

再エネ	126.8GWh (25.8%)
太陽光	84.0GWh (17.1%)
水力	27.1GWh (5.5%)
風力	4.9GWh (1.0%)
バイオマス	10.7GWh (2.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	234.2GWh (47.7%)
石炭火力	59.1GWh (12.0%)
石油等火力	27.7GWh (5.6%)
原子力	31.4GWh (6.4%)
揚水・蓄電	11.7GWh (2.4%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
491.0GWh

需要ピーク
11:00、2,694万kW

連系線・その他
128.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
30.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

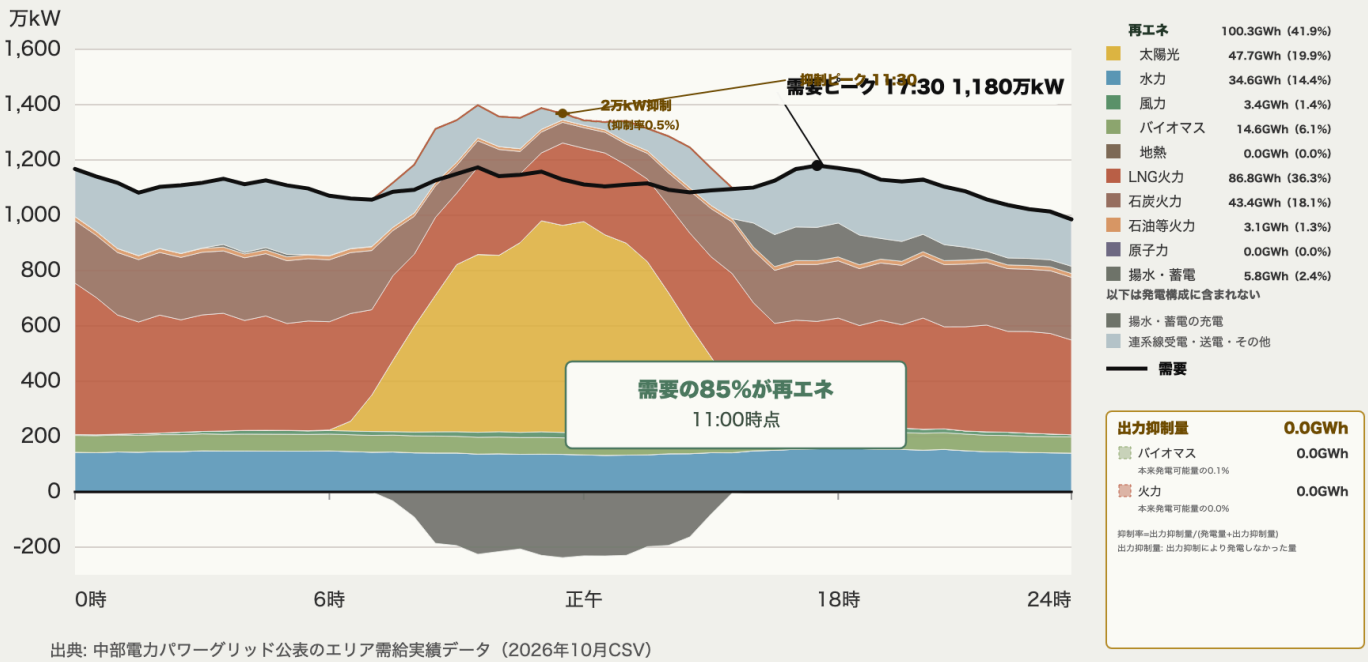
東京は、太陽光ピーク1,366万kW、風力ピーク30万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.1%だった。

2026年10月31日の供給実績

中部エリア

再エネ
100.3GWh
（発電電力量ベース41.9%）

中部エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
239.3GWh

需要ピーク
17:30、1,180万kW

連系線・その他
41.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

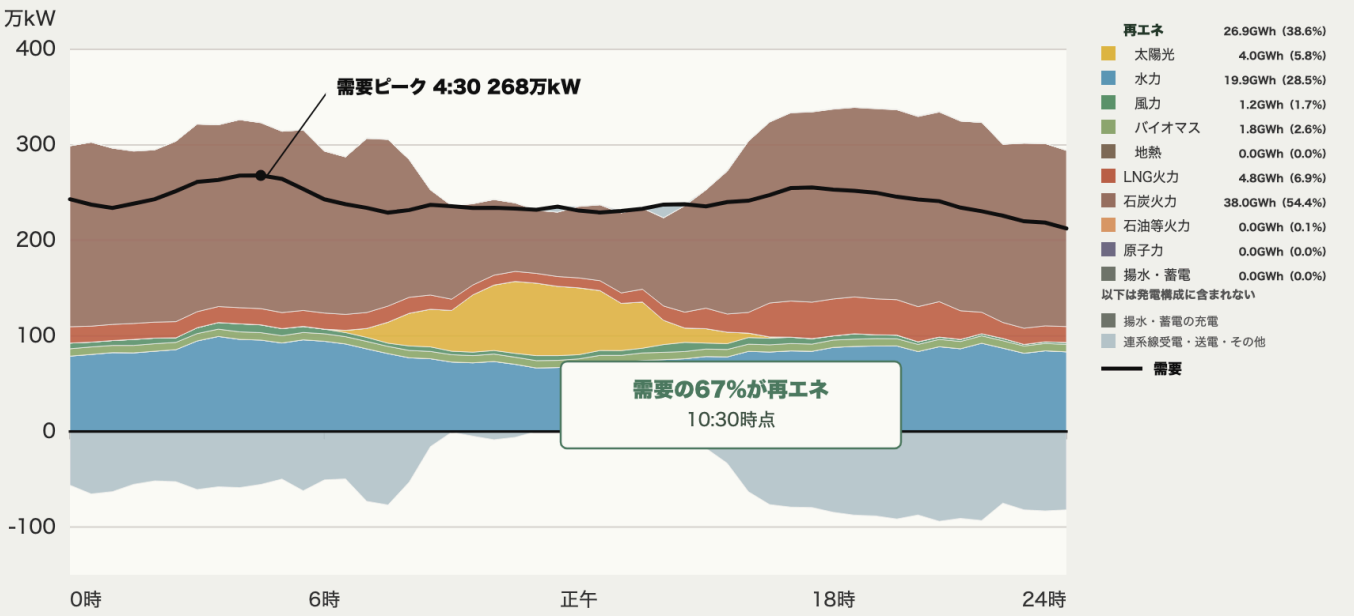
中部は、太陽光ピーク764万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.9%だった。

2026年10月31日の供給実績

北陸エリア

再エネ
26.9GWh
（発電電力量ベース38.6%）

北陸エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
69.8GWh

需要ピーク
4:30、268万kW

連系線・その他
12.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

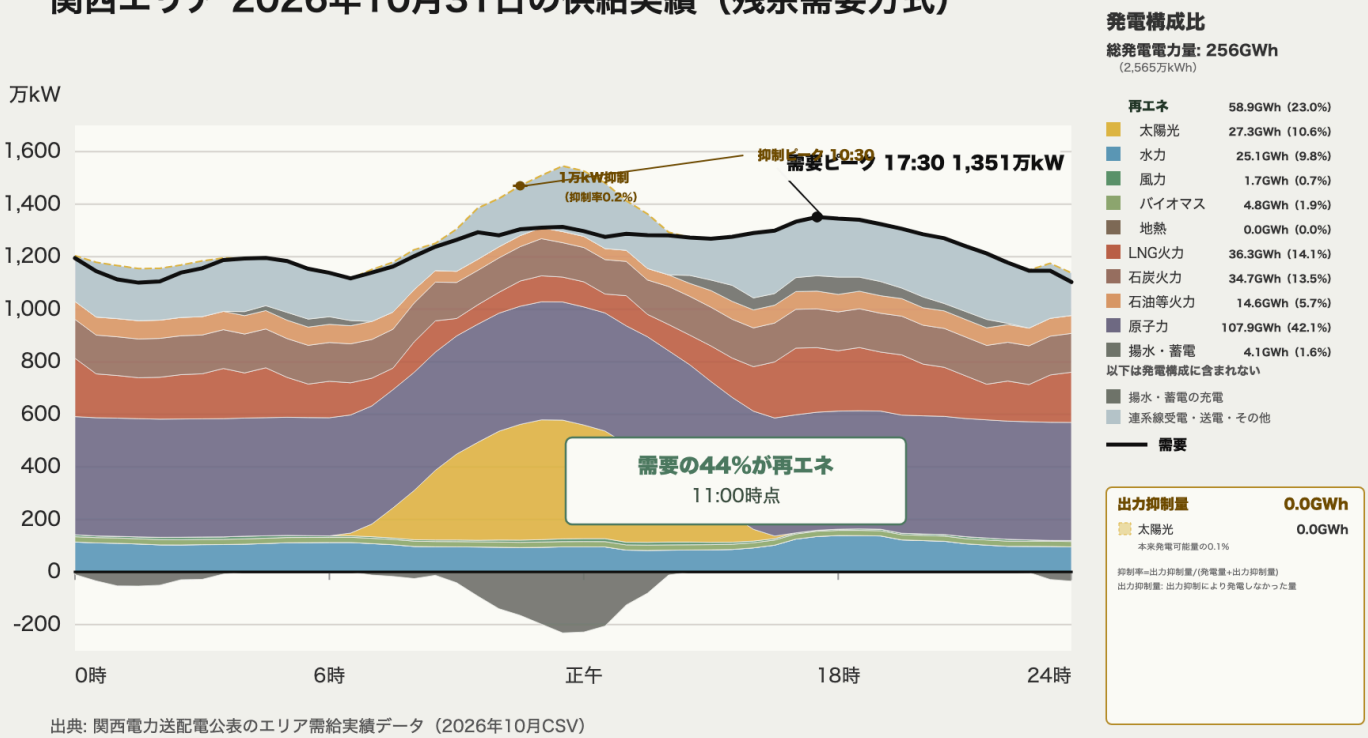
北陸は、太陽光ピーク76万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.3%だった。

2026年10月31日の供給実績

関西エリア

再エネ
58.9GWh
（発電電力量ベース23.0%）

関西エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
256.5GWh

需要ピーク
17:30、1,351万kW

連系線・その他
48.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

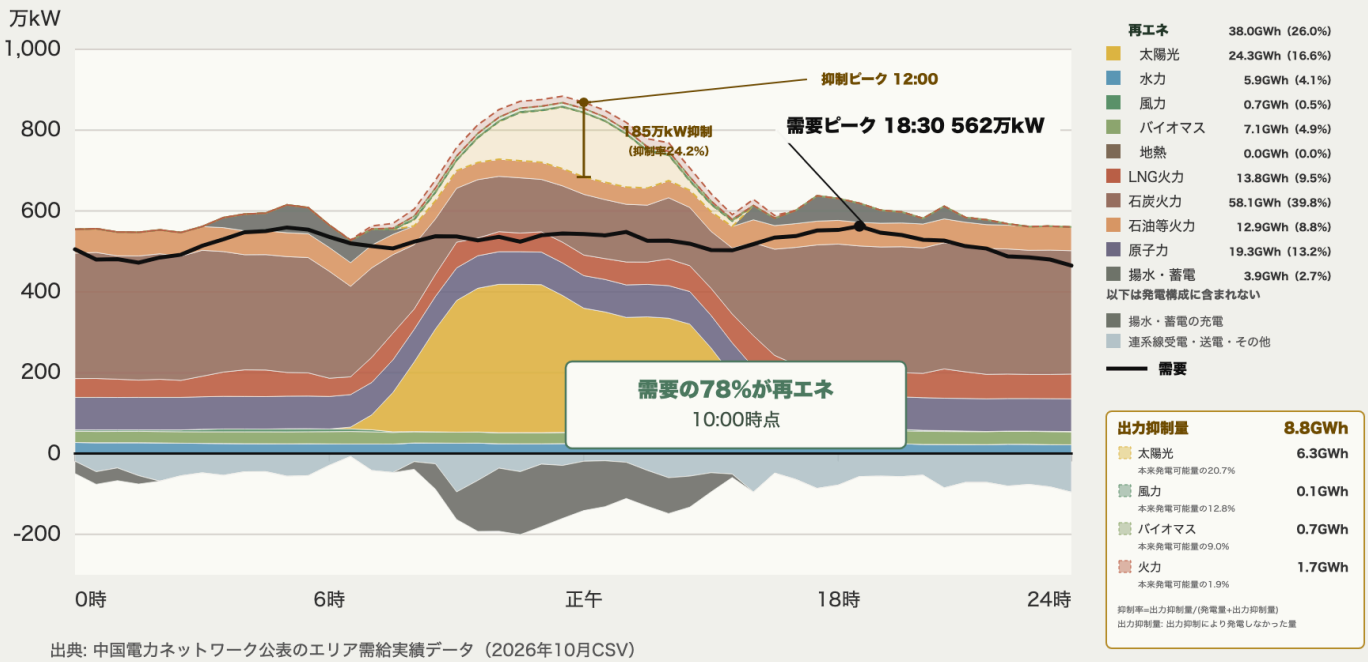
関西は、太陽光ピーク456万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.2%だった。

2026年10月31日の供給実績

中国エリア

再エネ
38.0GWh
（発電電力量ベース26.0%）

中国エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
146.0GWh

需要ピーク
18:30、562万kW

連系線・その他
12.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.1GWh

出力抑制
8.8GWh

概況

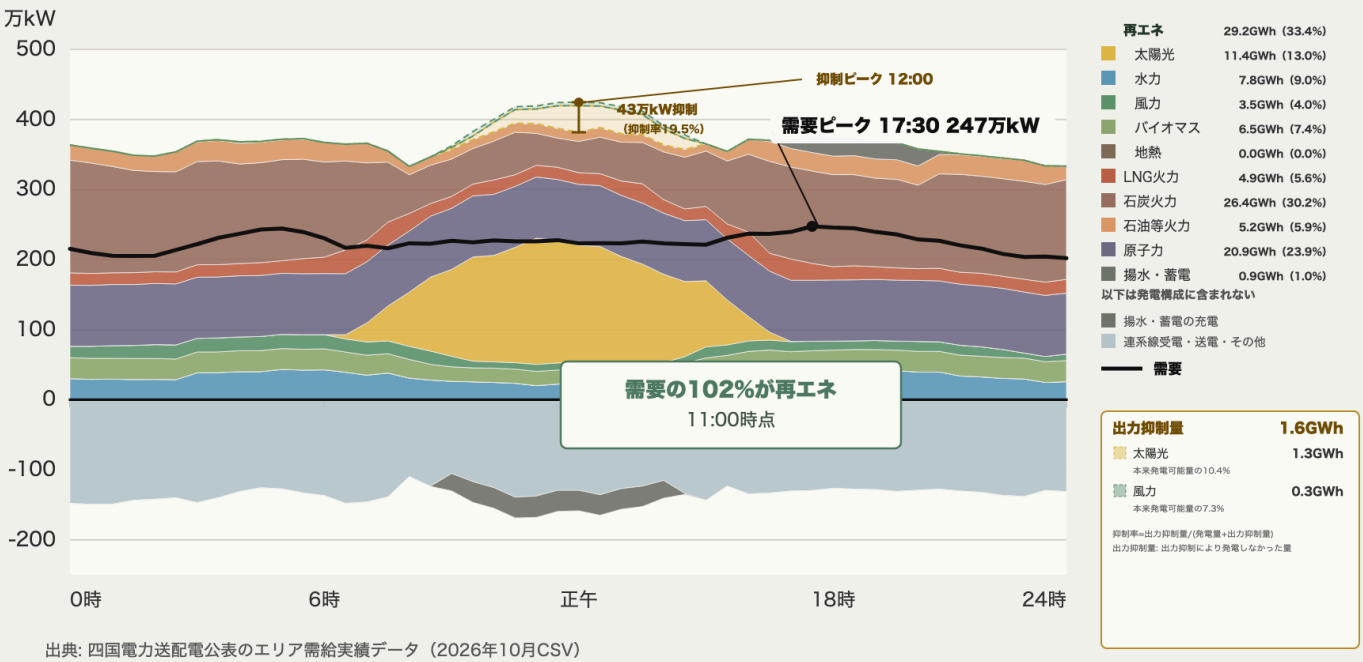
中国は、太陽光ピーク367万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.0%だった。

2026年10月31日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.1GWh
（発電電力量ベース33.4%）

四国エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
87.3GWh

需要ピーク
17:30、247万kW

連系線・その他
31.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
1.6GWh

概況

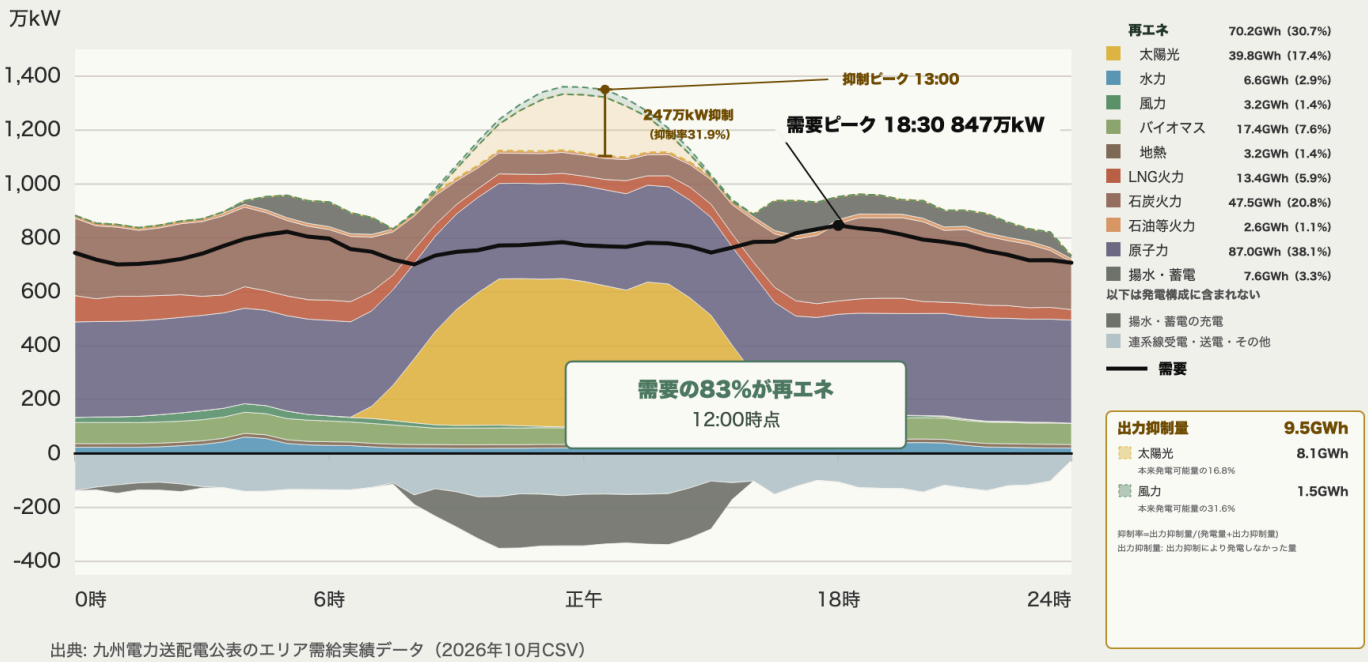
四国は、太陽光ピーク180万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は102.1%だった。

2026年10月31日の供給実績

九州エリア

再エネ
70.2GWh
（発電電力量ベース30.7%）

九州エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
228.3GWh

需要ピーク
18:30、847万kW

連系線・その他
30.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
13.4GWh

出力抑制
9.5GWh

概況

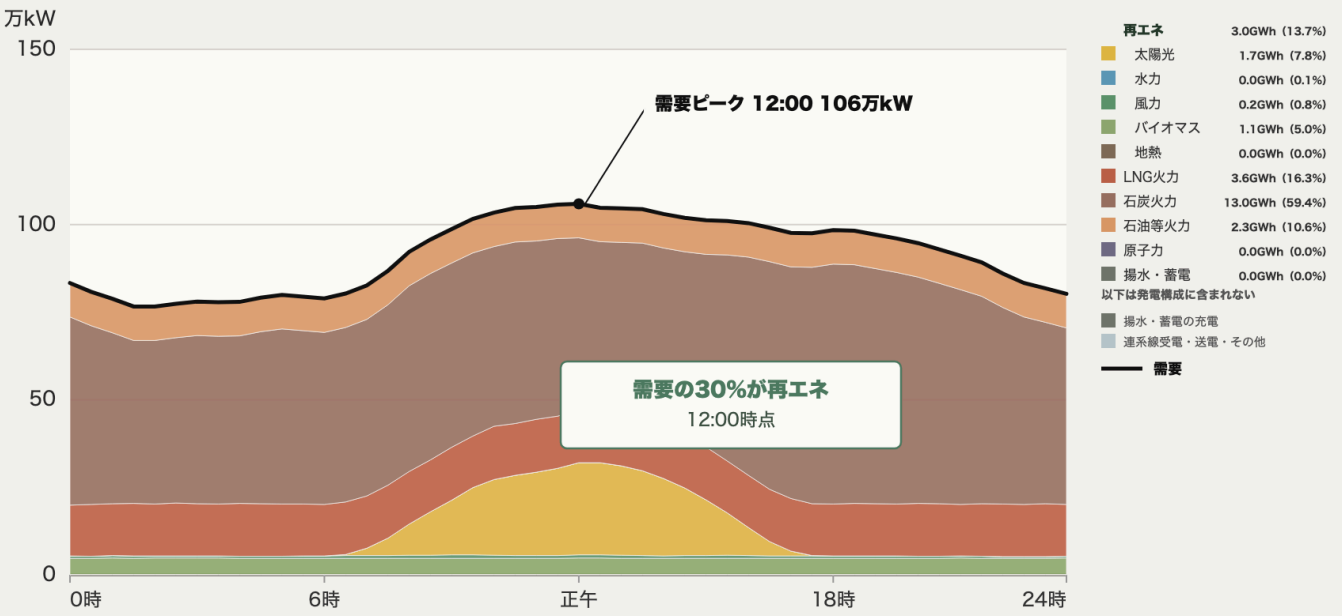
九州は、太陽光ピーク551万kW、風力ピーク33万kWで、時間別の再エネ最大需要比は84.0%だった。

2026年10月31日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.0GWh
（発電電力量ベース13.7%）

沖縄エリア 2026年10月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
22.0GWh

需要ピーク
12:00、106万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.5%だった。